

ふちがみ猛志の 人生×政治

相関図

1 ■虐待の悲劇から子どもを守る!

今年度、堺の子ども相談所の正規職員が過去最大の6名増に。虐待死で一番多いのは「生まれたその日の赤ちゃん」(全体の約20%)。悲劇を防ぐには、望まない妊娠に対する産前・産後のケアが重要。更なる体制強化が急務!



■「授かりたい」を叶えたい

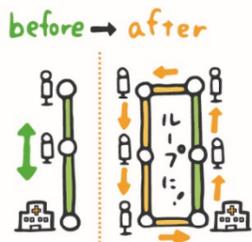
特定不妊治療の公費助成は、堺市は国基準の通り。所得制限の緩和や、回数増加、助成金額アップなど、独自の上乗せをしている自治体も少なくない。子育てのまち堺として、妊娠前からしっかりサポート!



■堺市立総合医療センターを利用しやすく

移転当初、堺区内に2か所だった無料送迎バスの停留所が、**英彰小前、出島バス停、旧湊小前**の追加で、5カ所になった。公立病院は医療のセーフティネット。多くの市民が利用しやすいよう、今後も送迎バスの充実を。

before → after



■認知症も早期発見が大事

75歳以上の方に認知症セルフチェックシートが配られるようになった。今後は高齢者の定期健康診断のメニューに認知症検診を加え、抵抗感なく受診できるようにし、一層の早期発見・治療を目指す。



2 ■子どもに自然をもっと

園舎のない、毎日野外活動の幼稚園「森のようちえん」が全国的に増えている。自然体験・農業体験の支援や、プレーパークの整備など、子どもが自然に触れながら、自由に遊べる機会を増やす。



■病気や障がいにも適切な保育を

訪問型の病児保育や、医療的ケア児の小規模保育が実現。それでもまだ足りない。施設型の病児保育も少なくとも各区1か所、できれば駅近くに。保育所への看護師配置を推進し、障がい児にも幅広い保育の選択肢を。



「赤字」部分は、ふちがみが議会質疑等で関わり、すでに実現!



■病気の早期発見・早期治療!

がん検診が無償化されると共に、検診の総合相談窓口が設置された。今後は医療機関の予約も、この窓口でできるようにし、検診を受ける煩わしさの低減を図る。検診による病気の早期発見は、健康維持の第一歩。



■中途障がいへの理解とサポートを

脳梗塞や糖尿病などの病気、交通事故、突発性難聴...等々、人生の途中で障がいを負うことは、決して他人事ではない。中途障がいへの理解を広め、障がいを負っても働きやすく、暮らしやすい社会に。




■放課後をもっと豊かに

これまで学童保育の夏休み・冬休み等の開所時間の前倒しや、開所日数増加を進めてきた。有資格の指導員の配置を増やすと共に、運営事業者の選定に保護者と子どもの声が反映される仕組みを作り、質の向上を図る。



■英語の授業をプロの先生に

文科省の方針で、再来年度に一気に増える小学校の英語授業。現時点でその多くを、英語の教員免許を持たない小学校の先生が担っている。どうせやるなら爽りのあるものに。英語の専任教師を、小学校にも配置。



子育て世代応援!



■多子家庭の経済的負担を軽減!

第3子以降の保育料無償化が実現し、第2子への拡充も進められている。子どもの数が増えれば増えるほど、経済的な負担感が増す。少子化対策としての経済支援は、多子家庭を中心に充実を図る。



■待機児童対策こそ本丸

無償化以上に重要なのが待機児童対策。「タダだけ保育所に入れない」では意味がない。市有地の提供、保育士の処遇改善、潜在保育士の活用等、保育の質を落とすことなく、待機児童ゼロを目指す。



4 ■医療費助成No.1をこれからも

中3まで所得制限なしで1回500円の、堺の子ども医療費。創設時は大阪府No.1だったが、各自治体がこれに倣い、今では決して珍しくなくなった。対象を高3までに拡充し、子育てのトップランナーを目指す!



■地域の力を学校に

教員の多忙化が問題となる中、部活動の指導や、図書館の運営、学習の個別指導等に、OB・OG、学生等の地域人材の活用を一層推進。子どもと地域の大人が関わら合うことは、健全育成にも繋がる。



5 ■大学教育で未来が広がる

奨学金で大学に行っても、卒業後に返済に苦労し、生活に困窮する若者が多い。堺市独自で返済支援制度を構築すると共に、国の返済不要の奨学金の拡充を求め! 大学進学は、未来が拓けるものでなくてはならない。



■若者にもワークライフバランスを

ブラック企業や過労死が社会問題化している。ワークライフバランスを推進する市内企業を奨励し、啓発を強化。若者が働くことで夢を見られる社会を。



この相関図に込めた想い

これは、ふちがみ猛志という一人の議員の政策の、ごく一部。どれも私たちやその家族の人生の、様々なシーンに関わるものです。たとえ政治に無関心な方でも、政治とまったく無関係の人生はありえません。そのことだけでも伝わりますように!

人口減少が多くの社会問題の根源!

高齢者の元気が社会の活力に!

教育は国家百年の計!



ふちがみ猛志 議会活動報告 Vol.13



- 1977年堺生まれ、堺育ち
- 妻長女8才 長男6才 次男2才
- 堺市立錦小学校 卒
- 堺市立殿馬場中学校 卒
- 大阪府立三国丘高校 卒
- 神戸大学法学部 卒
- 元・半導体商社社員
- 元・衆議院議員政策担当秘書
- 元・堺市長 政務秘書
- 2015年 堺市議会初当選

活動情報発信中！

HP

BLOG

LINE@ はじめました。
LINE ID @osz7708b

Twitter

Instagram

【ふちがみ猛志市政相談所】
堺区新町2-4 小山電ビル2F-A1
TEL/FAX: 072-320-0103



総務財政委員会 副委員長に

今年度も、昨年度に引き続き総務財政委員会所属となりました。予算や財政、市の方向性を議論する重要な委員会であり、今年度はその副委員長を拝命しました。委員長をサポートしながら、建設的な議論を重ね、堺市の発展に寄

与して参ります。任期も最終年度です。5・6月の議会も終わり、議会定例会は残りあと3回です。やり残しが無いように、初当選の時の思いに立ち返って、1つ1つ政策実現を目指し、胸を張って任期を終えられるよう頑張ります。



就任の挨拶をする田淵和夫委員長（真ん中奥左）と、副委員長を拝命したふちがみ猛志（同右）

里親のことを知ってください

東京都目黒区の虐待事件には、心が痛みました。転居時の自治体間の引継ぎ等、多くの課題が指摘されていますが、そもそも、こども相談所の人員が全く足りていません。「ここ10年で虐待相談件数は3倍なのに、こども相談所職員は1.3倍止まり」と、私も議会で訴え、堺市ではなんと大幅増にこぎつたところです（それでも足りません）。

【堺市のこども相談所職員数】

	H29	H30	増減
職員総数	101人	111人	+10人
うち正規職員	56人	62人	+6人

いずれも過去最大の増加！

一方、堺が大きく出遅れているのが、里親の確保です（政令市最下位）。虐待などで実親と暮らせない子どもの受け入れ先にもなります。里親を増やすには、制度の周知が重要です。まずは、以下のことだけでも知ってください！！

- ✓ 里親には里親手当や一般生活費が支給されます。
- ✓ 1週間程度の短期や週末だけの里親もあります。
- ✓ 共働きや、実子がいてもなれます。*
- ✓ LGBTカップルやシングルの方もなれます。*

*研修受講や、経済的に困窮でないこと、子への愛情・情熱等の条件があります。詳しくは → [里親 堺市](#) [検索](#)

【政令市20市の里親委託率】

順位	都市名	委託率
1	新潟市	51.1%
...
18	大阪市	11.8%
20	堺市	10.6%
	政令市平均	18.5%

* 家庭で暮らせない子に対し、里親をマッチングできた割合。欧米諸国は50~90%にも。
* 堺市のみH29年度、その他はH28年度

あなたとの出会いを待つ子どもがいます

短期 養育里親募集

ただいま おかえり

里親募集のポスター

【大募集！】ポスターを掲示させてください！

ご自宅や駐車場などにポスターを貼らせて頂けないでしょうか？
掲示期間は2019年3月末までですが、短期間だけでも助かります。
ご協力頂ける方は、お手数ですが、電話&FAX 072-320-0103、
メール takeshi@fuchigami.info、SNS（上記QR参照）でご連絡ください！



ふちがみ猛志の大綱質疑より

認可外保育所も無償化対象に

私も訴え、実現・拡充してきた堺市の多子家庭の保育料無償化。残念ながら認可外保育所は対象外。しかし、国が来年秋に始める3~5歳児の保育料無償化において、認可外でも対象とする方針。「堺市もこれに合わせるべき」と訴え、当局は「十分に踏まえる」と答弁した。

【保育料無償化の実施スケジュール】

	第1子	第2子	第3子以降
5才児	2019.10~	実施済	実施済
4才児	2019.10~	2019.4~	実施済
3才児	2019.10~	2019.10~	実施済
0~2才児	現状予定なし	2020.4~	実施済

青字部分は国の施策、赤字部分は堺市の独自施策によるものです。
スケジュールはあくまで現時点での予定です。

少しの配慮で難聴者支援

堺市内の聴覚障がい者は約3000人。一方、障害者手帳のない難聴者が、その30倍以上とも。コミュニケーションが取りづらく、孤立している方も少なくない。しかし、「口を見せながら、ハッキリゆっくりしゃべる」という周囲の少しの配慮で、それは大きく改善する。誰もが暮らしやすいまちを目指し、障がいに応じた配慮を啓発していくよう訴えた。



耳が不自由なことを示す耳マークの普及も！

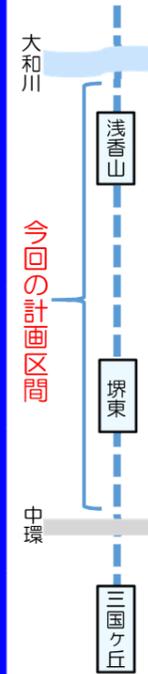
空き家対策は活用で

空き家が増え、近隣の住環境に悪影響を与えるケースが増えている。しかし、私有財産なので撤去などの措置は難しい。ならば、活用促進！小規模保育所や、老人集会所など、公益に資する活用には、固定資産税の減免や、整備の補助金を出すなど、空き家の持ち主をその気にさせる政策が必要だと提案した。



高野線の高架化が前進！

「堺区のまちづくりに不可欠」と、これまで訴え続けてきた「高野線の高架化」の目標スケジュールが、ようやく示されました。2020年着工、40年完成と、時間のかかる事業ですが、前倒しできるように今後も訴え続けていきます！



10か所の踏切を解消！
東西の行き来を活性化！



ご意見をお寄せください！

FAX: 072-320-0103

Mail: takeshi@fuchigami.info

議員の仕事は、市民の声を市政に届けること。まずは「聞くこと」です。
皆様のご意見、ご不満、お困りごと、何でもお聞かせください。政策立案に活用させていただきます。

お名前: TEL:

住所:

※匿名でも結構ですが、ご連絡先をご記入くださいましたら、必ずお返事いたします。

ふっちゃんをつぶやき (編集後記)

ある日、家で娘と友達数人がワイワイ大騒ぎ。見ると、私のポスターのコピーに落書き大会！ヒゲやメガネやお化粧まで。「父親のポスターが町中にあるなんて、嫌だろうなあ」と心配していたのですが、杞憂でした。町中のポスターは、器物損壊になるから、絶対落書きしないでね。

